

2019年度 第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報

令和元年12月23日付けで、「2019年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報（2020年1月～6月）」が発表されました。本予報は、北海道～鹿児島県までの水産試験研究機関がデータを持ち寄り、国立研究開発法人 水産研究・教育機構中央水産研究所が取りまとめ、九州～常磐南部までの黒潮流路を主とした海況予測と、マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ、マサバ・ゴマサバの漁況予測を行ったものです。宮城県海域に関係する予報が出されたのは、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ及びゴマサバで、予報内容は以下のとおりです。

〈今後の見通し（2020年1月～6月）〉

●海況（対象海域：房総～常磐南部海域）

見通し：房総～常磐南部海域は「平年並」～「やや高め」で推移する。

●マイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：前年並～上回る。

(2)漁期・漁場：まき網の漁場は、1月～4月は房総海域～常磐南部海域、5月以降は房総海域～三陸南部海域で形成される。定置網は、仙台湾～三陸南部海域において、期を通じて入網がみられる。

(3)魚体：13 cm～17 cm 前後（1歳魚）、16 cm～18 cm 前後（2歳魚）、17 cm～19 cm 前後（3歳魚）、19 cm 以上（4歳魚）。2歳以上が主体。

●カタクチイワシ（対象海域：房総～三陸海域、道東海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：房総・常磐海域、三陸南部海域では前年を上回る。三陸北部海域、道東海域ではまとまった漁獲がない。

(2)漁期・漁場：まき網は房総海域～鹿島灘で期を通じて漁獲されるが、極めて散発的。

(3)魚体：7 cm～13 cm の1歳魚主体に、10 cm～13 cm の2歳魚が漁獲される。ただし、12 cm 以上は極めて少ない。

●マサバ及びゴマサバ（対象海域：犬吠～三陸海域 対象漁業：まき網、定置網）

(1)来遊量：マサバ1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳魚は前年を下回る。4歳魚は前年を上回る。5歳魚は前年並。6歳以上は前年を上回る。マサバ全体としては前年を上回る。ゴマサバは前年を下回る。サバ類全体としては前年を上回る。

(2)漁期・漁場：まき網では期を通じて犬吠～常磐南部海域が主漁場となり、期後半には三陸南部海域にも漁場が形成される。三陸海域の定置網では4月以降に漁獲される。

(3)魚体：マサバは、期前半は28 cm～35 cm（4歳以上）主体に、期後半は24 cm～31 cm（3歳以下）の割合が増加する。

※詳細については、国立研究開発法人 水産研究・教育機構ホームページ (<http://abchan.fra.go.jp/>) に掲載されております。